

平成 28 年度
事業概要



和歌山県動物愛護センター
和歌山県鳥獣保護センター



「人と動物が共生する
潤いのある社会づくり」
をめざして



和歌山県動物愛護センター

目 次

第 I 章 総括

1 組織・機関	1
(1)沿革	1
(2)和歌山県動物愛護管理関係機関	3
(3)施設の概要	3
(4)組織及び職員構成	6
2 業務の内容	6
3 管轄区域図	7
4 主要備品一覧	8
5 取材等対応状況	9

第 II 章 動物愛護センター

平成 28 年度年間事業実施状況	10
狂犬病予防法に基づく登録及び予防注射済票交付数	11
1 動物の保護管理に関する事業	12
(1)県内収容頭数及び措置状況 保護頭数等の推移	12
(2)センターにおける収容頭数及び措置状況	14
(3)県内苦情受理件数	15
(4)センター苦情処理件数	15
2 動物愛護等啓発事業	17
(1)動物の譲渡事業	17
(2)犬のしつけ方教室	18
(3)動物愛護教室	19
(4)体験教室・職業体験	19
(5)AAA活動	20
(6)施設見学	20
(7)小犬とのふれあい	20
(8)ねことのふれあい	20
(9)イベント事業	21
(10)「わうくらす」事業	22

(11) 県民参加登録事業	・・・ 25
(12) 「わうくらぶ」との協働	・・・ 27

第Ⅲ章 調査研究

○ 調査研究年表	・・・ 28
----------	--------

第Ⅳ章 鳥獣保護センター

○ 傷病野生鳥獣救護状況	・・・ 29
--------------	--------

資料編

資料 平成28年度来館者数と年度別来館者数	・・・ 30
-----------------------	--------

第 I 章 総 括

1 組織・機構

(1) 沿 革

「狂犬病予防法（昭和 25 年法律第 247 号）」及び「動物の保護及び管理に関する法律（昭和 48 年法律第 105 号）」に基づく業務については、本県では保健所において執行されていたが、動物愛護は、動物とともに暮らす生活の中で育む文化の一部となり、私たちの生活環境は大きく様変わりし、人々の考え方、価値観も、「心の豊かさ」、「心の癒し」を求めるようになってきた。

また、動物を飼われる方も増え、家族の一員として一緒に暮らすという方向に変わりつつある。その一方で、動物に対する理解や知識の不足から、動物への虐待、捨て犬・捨て猫の増加、人への危害の発生など動物をとりまくさまざまな問題が生じている。

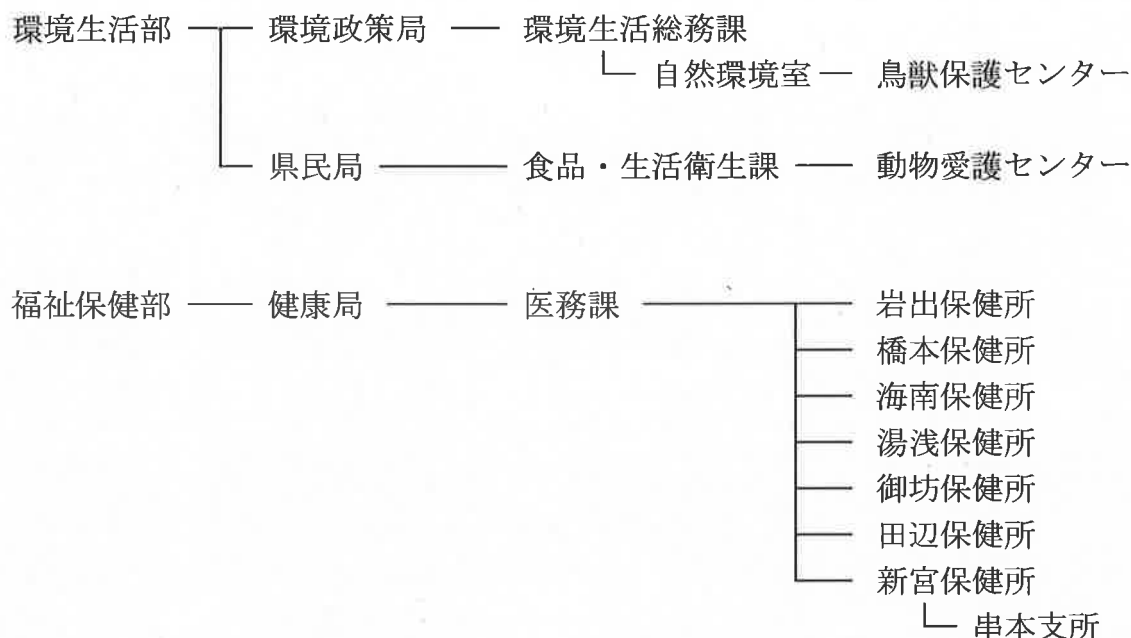
こうした状況の中、動物の保護管理業務の効率化及び動物愛護、適正飼養の普及啓発を行う拠点として、「人と動物が共生する潤いのある社会づくり」を目指して、平成 12 年 4 月「和歌山県動物愛護センター」が設置された。

また、野生鳥獣の保護は、自然との共生の観点から関心が高まってきており、負傷鳥獣保護、鳥獣保護思想の普及啓発、鳥獣保護に関する調査研究棟の効果的実施をする拠点として「和歌山県鳥獣保護センター」が併設された。

昭和 25 年 8 月	「狂犬病予防法」施行
昭和 32 年 12 月	「和歌山県飼い犬等取締条例」施行
昭和 49 年 4 月	「動物の保護及び管理に関する法律」施行
昭和 61 年 12 月	和歌山県長期総合計画に動物愛護センター計画を盛り込む
平成 5 年 4 月	「和歌山県の動物行政在り方検討委員会」設置
平成 7 年 3 月	「和歌山県の動物行政在り方検討委員会」報告書を知事に提出
平成 8 年 3 月	基本構想策定
平成 9 年 3 月	基本計画（機能・運営計画）策定
平成 9 年 4 月	第 8 次鳥獣保護事業計画書に鳥獣保護センターの設置を盛り込む
平成 9 年 11 月	展示物基本設計策定

平成 10 年 3 月	建設用地取得
平成 10 年 5 月	建築基本・実施設計完了
平成 10 年 7 月	展示物実施設計策定
平成 10 年 12 月	動物愛護センター建設工事着工
平成 11 年 3 月	動物愛護センター敷地内に鳥獣保護センターの併設が決定
平成 11 年 10 月	鳥獣保護センター建築工事着工
平成 12 年 3 月	展示物制作業務完了
平成 12 年 3 月	動物愛護センター・鳥獣保護センター竣工
平成 12 年 4 月	「和歌山県動物の保護及び管理に関する条例」施行
平成 12 年 4 月	和歌山県動物愛護センター・鳥獣保護センター業務開始
平成 12 年 12 月	「動物の愛護及び管理に関する法律」改正
平成 12 年 12 月	「和歌山県動物の愛護及び管理に関する条例」改正
平成 14 年 6 月	「わうくらす」を開始（野上町立野上小学校）
平成 14 年 10 月	「身体障害者補助犬法」施行
平成 17 年 6 月	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」施行
平成 18 年 6 月	「動物の愛護及び管理に関する法律」改正施行
平成 18 年 10 月	環境省「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」告示
平成 20 年 4 月	和歌山県動物愛護管理推進計画を施行
平成 21 年 3 月	和歌山県譲渡事業促進プログラムを施行
平成 25 年 9 月	「動物の愛護及び管理に関する法律」改正施行
平成 28 年 3 月	「和歌山県動物の愛護及び管理に関する条例」改正

(2) 和歌山県動物愛護管理関係機関 (平成28年度)



(3) 施設の概要

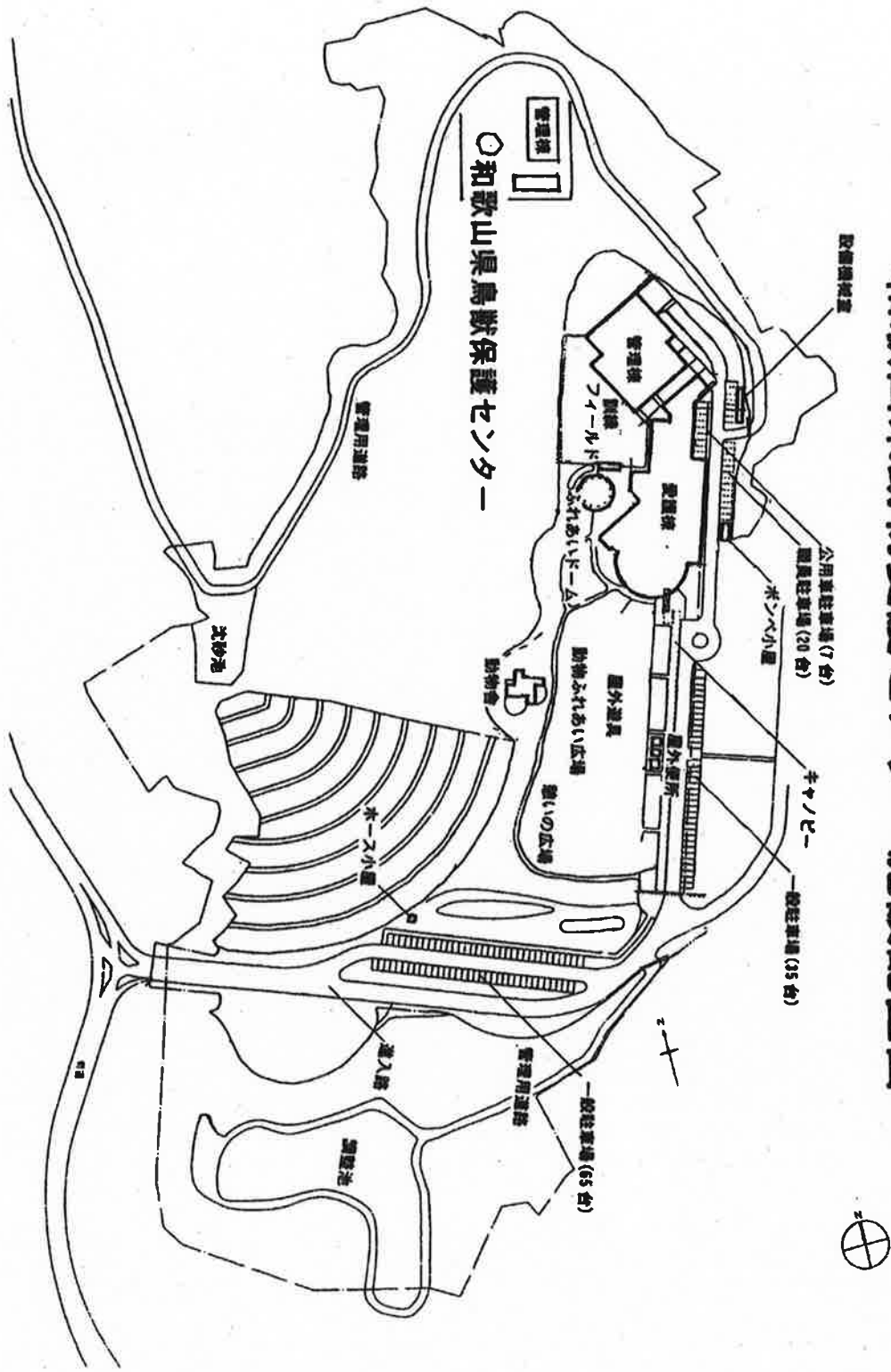
所在地 動物愛護センター：和歌山県海草郡紀美野町国木原372番地
 鳥獣保護センター：和歌山県海草郡紀美野町国木原381番地

面積 敷地面積 95,000m²
 動物愛護センター：有効平地面積 31,750m²
 鳥獣保護センター：有効平地面積 1,550m²

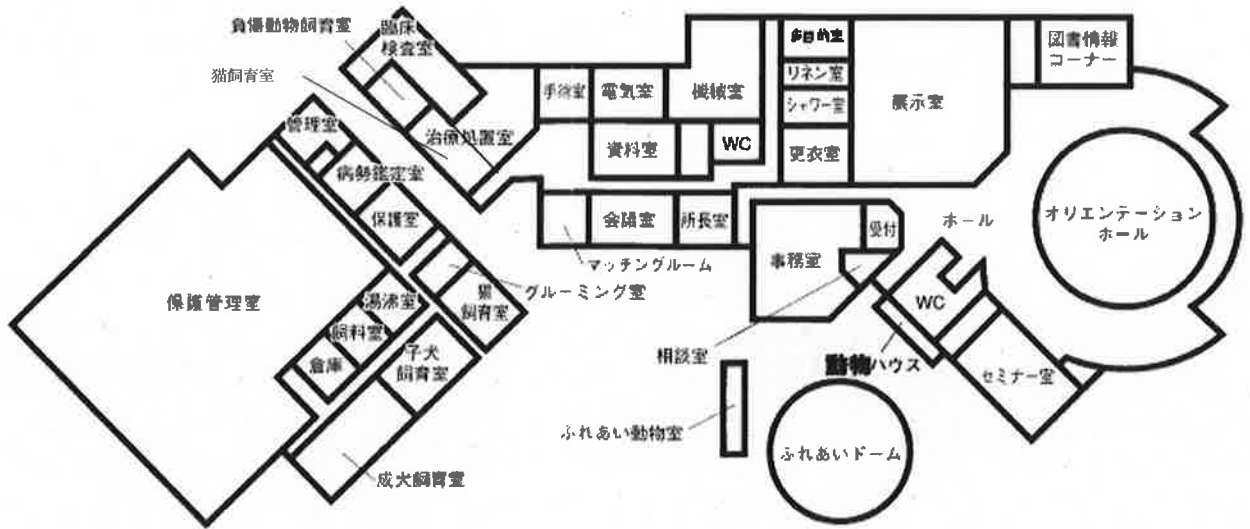
施設

	動物愛護センター	鳥獣保護センター
	4,057m ²	463m ²
	(内訳)	(内訳)
延べ床面積	本館(愛護棟) 2,342m ² (管理棟) 1,132m ² (ふれあいルーム) 113m ² ふれあい動物舎 121m ² その他付属棟 349m ²	管理棟 264m ² 飼育棟 108m ² フライングケージ 87m ² 浄化槽機械室 4m ²
構造	RC・S造/地上1階 (一部地下1階)	RC・S造/地上1階

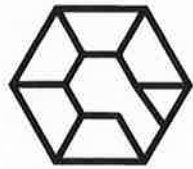
和歌山県動物愛護センター施設配置図



和歌山県動物愛護センター

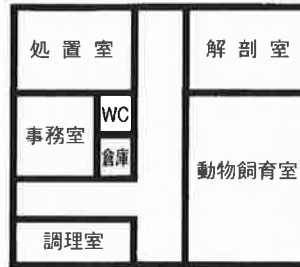


和歌山県鳥獣保護センター

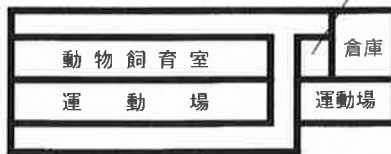


(フライングケージ)

(管理棟)



動物飼育室



(飼育棟)

(4) 組織及び職員構成 (平成28年度)

	所長	業務課	計
獣医師	1	3	4
事務吏員		2	2
事務吏員(技術系)		6	6
事務補助員		1	1
計	1	12	13

* 鳥獣保護センターと兼務

2 業務の内容

1) 動物愛護センターは、動物愛護精神の高揚を図り、もって人と動物が共生する潤いある社会づくりに寄与することを任務とし、次の事務を所掌する。

(1) 動物の愛護および適正飼養についての普及啓発に関すること。

(2) 動物の保護管理及び動物による危害の防止に関すること。

(3) 犬及び猫の引き取りに関すること

(4) 負傷動物の収容措置に関すること。

(5) 収容した動物の返還、譲渡及び殺処分に関すること。

(6) 狂犬病予防対策に関すること。

(7) 動物由来感染症等の調査研究に関すること。

(8) その他任務の達成に必要なこと。

2) 鳥獣保護センターは、傷病鳥獣の救護及び鳥獣保護思想の普及を図ることを任務とし、次の事務を所掌する。

(1) 傷病鳥獣の治療及び機能回復に関すること。

(2) 鳥獣保護に関する調査研究に関すること。

(3) その他任務の達成に必要なこと。

3 管轄区域図

面積 4,724.69 km²
 人口 594,893 人 (和歌山県統計情報館の平成28年4月1日推計人口による。)

紀北4保健所

- ・ 犬の抑留、動物の收容を協働
- ・ 保健所收容動物を搬送 (随時)



紀南4保健所

- ・ 保健所收容動物を搬送 (週1回)

	管轄市町村
橋本保健所	橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町
岩出保健所	岩出市、紀の川市
海南保健所	海南市、紀美野町
湯浅保健所	有田市、湯浅町、広川町、有田川町
御坊保健所	御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町
田辺保健所	田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町
新宮保健所	新宮市、那智勝浦町、太地町、北山村
新宮保健所串本支所	古座川町、串本町

* 和歌山市は中核市のため管轄外

4 主要備品一覧

棚・保管庫等	検査・診断・処置
器具保管戸棚	診察台
ボトルキャビネット	処置台
薬品保管戸棚	手術台
ステンレス保管庫	ステンレス作業台
ステンレス薬品保管庫	レントゲン撮影装置一式
超低温保管庫	自動現像器
冷蔵保管庫	シャウカステン灯
冷凍冷蔵庫	小動物全身麻酔装置一式
食器消毒保管庫	心電計
紫外線殺菌消毒保管庫	電動バリカン
事務用品	電気メス
印刷用輪転機	電気焼烙器
シュレッダー	ハロゲン眼耳鼻咽頭診断機器セット
ファクシミリ一式	病理解剖器具一式
啓発事業	超音波洗浄機
一眼レフカメラ一式	超音波ピペット洗浄機
二眼レフカメラ一式	オートクレーブ
デジタルカメラ一式	煮沸消毒器
デジタルビデオカメラ一式	乾熱滅菌器
マイクロCCDスコープ	蒸留水製造装置
OHP	ドラフトチャンバー
スライド映写機	恒温槽
ワイヤレスマイク・アンプセット一式	インキュベーター
心音拡大聴診装置	デシケーター
テント一式	上皿電子天秤
車 輦	小型卓上遠心機
軽四輪貨物自動車（保護活動車）	ホモジナイザー
小型貨物自動車（保護活動車）	ストマッカー
普通貨物自動車	生物顕微鏡
愛護啓発自動車	三眼生物顕微鏡
保護業務	三眼実体顕微鏡
携帯電話機	標本撮影装置
トランシーバー	血液自動分析装置
捕獲器	卓上蛋白計
麻酔銃（圧縮ガス式ピストル型）	コロニーカウンター
飼育管理	単眼生物顕微鏡
スタンド式ドライヤー	マイクロチップリーダー
グルーミング用乾燥機	

5 取材等対応状況

下表のとおり取材対応を行った。

新聞

月日	取材者	取材内容
4月4日	ニュース和歌山	WAWフェスタについて
4月9日	ら・ふあむ	WAWフェスタについて
4月27日	わかやま新報	被災犬の収容について
4月28日	毎日新聞	被災犬について
4月28日	わかやま新報	被災犬の収容について
7月6日	毎日新聞	新しい飼い主さがし掲示板について
7月27日	わかやま新報	譲渡ボランティア・ミルクボランティアについて
8月8日	わかやま新報	夏休み飼育体験教室について

テレビ・ラジオ

月日	取材者	取材内容
4月28日	読売テレビ	熊本地震による犬の受け入れについて 撮影
8月10日	NHK和歌山	水害時に保護された犬のその後について
8月18日	読売テレビ	犬猫の搬入と殺処分業務について 撮影
10月5日	関西テレビ	センター業務について 撮影

第Ⅱ章 動物愛護センター

平成28年度 年間事業実施状況

事業名		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
動物の保護管理に関する事業	動物関係等苦情処理	←												→	
	飼えなくなった・飼い主不明犬・猫の引取り	←												→	
	負傷動物の保護・治療等	←												→	
	犬・猫の失踪届受理・照合	←												→	
	野犬等の保護・抑留	←												→	
	咬傷犬の狂犬病診断	←												→	
動物愛護事業	譲渡事業	犬・猫の譲渡	←											→	
		飼い方講習会	←												毎月、第二・四日曜日及び平日不定期に一日
		譲渡犬のしつけ方教室	←												第1回及び第2回を毎月それぞれ2回実施
		動物愛護教室	←												来館・施設利用者に対して事前申込、実施
		小犬とのふれあい	←												平日1回・土日祝2回
		猫とのふれあい	←												毎日1回
	動物愛護授業「わうくらす」	連絡調整実施支援等	←												
		動物愛護センターが直接実施		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	小学校25校(延べ64回)
		動物愛護イベント「WAW フェスタ」		*											
	体験教室	獣医師体験				*	*							*	小中学生対象で事前申込
		飼育体験					*								小中学生対象で事前申込
		特別研修会「犬のしつけ方」セミナー	*												4月 7日(木)
	「犬猫の高齢期における管理」												*	3月 5日(日)	
その他	動物に関する調査研究	←												→	
	動物慰霊祭												*	3月 3日(金)	
鳥獣	傷病鳥獣の治療・リハビリ	←												→	
	野生鳥獣に関する調査研究	←												→	

狂犬病予防法に基づく畜犬登録及び狂犬病予防注射済票交付数(和歌山市除く)

管轄 保健所名	市町村名	登録数			注射済票交付数			注射実施率
		26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度	28年度
岩出	紀の川市	3,843	3,787	3,753	2,083	2,222	2,186	58.2%
	岩出市	2,467	2,575	2,650	1,620	1,716	1,719	64.9%
	小計	6,310	6,362	6,403	3,703	3,938	3,905	61.0%
高野口	橋本市	3,930	3,839	3,760	2,722	2,723	2,677	71.2%
	かつらぎ町	1,252	1,160	1,113	707	701	699	62.8%
	九度山町	261	253	241	188	174	174	72.2%
	高野町	229	241	230	170	99	111	48.3%
	小計	5,672	5,493	5,344	3,787	3,697	3,661	68.5%
海南	海南市	2,305	2,293	2,296	1,754	1,805	1,756	76.5%
	紀美野町	605	581	558	302	307	296	53.0%
	小計	2,910	2,874	2,854	2,056	2,112	2,052	71.9%
湯浅	有田市	1,323	1,328	1,336	820	800	807	60.4%
	湯浅町	415	411	422	281	280	258	61.1%
	広川町	394	380	354	269	254	241	68.1%
	有田川町	1,435	1,338	1,309	993	952	877	67.0%
	小計	3,567	3,457	3,421	2,363	2,286	2,183	63.8%
御坊	御坊市	1,074	1,084	1,076	744	779	719	66.8%
	美浜町	375	368	351	302	284	276	78.6%
	日高町	383	330	325	291	296	282	86.8%
	由良町	305	288	279	223	218	204	73.1%
	印南町	510	493	486	408	406	373	76.7%
	日高川町	633	599	573	513	501	480	83.8%
	小計	3,280	3,162	3,090	2,481	2,484	2,334	75.5%
田辺	田辺市	3,082	3,015	2,999	1,839	1,798	1,739	58.0%
	白浜町	1,081	1,036	1,008	673	695	598	59.3%
	みなべ町	811	793	794	565	520	530	66.8%
	上富田町	698	720	710	456	433	436	61.4%
	すさみ町	268	264	259	164	158	144	55.6%
	小計	5,940	5,828	5,770	3,697	3,604	3,447	59.7%
新宮 串本支所	古座川町	287	288	272	253	257	232	85.3%
	串本町	905	877	857	654	604	600	70.0%
	小計	1,192	1,165	1,129	907	861	832	73.7%
新宮	新宮市	1,192	1,167	1,140	728	684	663	58.2%
	那智勝浦町	836	795	766	552	592	592	77.3%
	太地町	186	186	184	151	140	134	72.8%
	北山村	32	33	31	26	25	20	64.5%
	小計	2,246	2,181	2,121	1,457	1,441	1,409	66.4%
合計		31,117	30,522	30,132	20,451	20,423	19,823	65.8%

1 動物の保護管理に関する事業

(1) 県内収容頭数及び措置状況（和歌山市除く）

①収容状況

単位：頭・匹

		狂犬病	動愛法			計	前年度からの継続飼養
		抑留	所有者引取	拾得者引取	負傷収容		
犬	成	150	41	59	8	258	24
	幼		19	7	6	32	2
	計	150	60	66	14	290	26
猫	成		31	466	33	530	19
	幼		15	1116	68	1199	1
	計		46	1582	101	1729	20
その他	成				0	0	0
	幼				0	0	0
	計				0	0	0

*狂犬病抑留：狂犬病予防法に基づく犬の抑留

*動愛法：動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物の収容（所有者引取、拾得者引取（警察からの依頼含む）、負傷動物収容）

*「幼」：収容時に生後90日齢以下のもの（推定含む）（以下同じ）

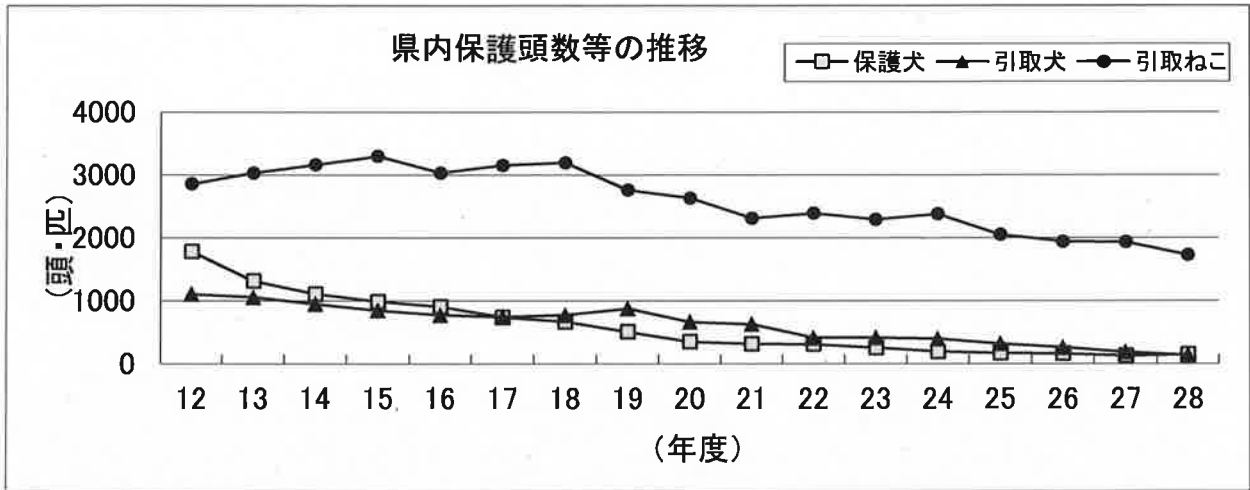
②措置状況

単位：頭・匹

		返還		引取取り下げ	譲渡	自然死	殺処分	計	次年度へ継続飼育
		狂犬病	動愛法						
犬	成	60	22	2	13	15	137	249	33
	幼		1	0	23	1	2	27	7
	計	60	23	2	36	16	139	276	40
猫	成		13	0	10	117	392	532	17
	幼		1	3	44	421	727	1196	4
	計		14	3	54	538	1119	1728	21
その他	成		0	0	0	0	0	0	0
	幼		0	0	0	0	0	0	0
	計		0	0	0	0	0	0	0

*返還：「狂犬病予防法」に基づき抑留した犬、「動物の愛護に及び管理に関する法律」に基づき拾得・負傷収容した犬猫を飼い主に返還するもの

*引取取り下げ：動愛法に基づき実施した所有者から引き取りを取り下げしたもの



*保護：狂犬病予防法に基づく犬の保護（抑留）

*引取：動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物の収容（所有者引取、拾得者引取（警察からの依頼含む）、負傷動物収容）

	平成12年度		平成28年度	
保護犬	1785頭	→	150頭	約8.40%に減少
引取犬	1109頭	→	140頭	約12.6%に減少
引取猫	2860匹	→	1729匹	約60.5%に減少

(再掲)

県内収容頭数（保健所（支所）別）

抑留	橋本	岩出	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
犬 成	15	30	15	11	18	45	10	6

引取 所有者	動愛センター	橋本	岩出	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本	
犬	成	1	8	8	2	5	4	7	5	1
	幼	0	8	6	0	0	0	0	5	0
	計	1	16	14	2	5	4	7	10	1
猫	成	0	13	4	8	0	2	3	1	0
	幼	0	6	5	0	0	0	1	3	0
	計	0	19	9	8	0	2	4	4	0

引取 拾得者	動愛センター	橋本	岩出	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本	
犬	成	4	3	17	3	8	8	12	4	0
	幼	2	0	0	0	0	1	4	0	0
	計	6	3	17	3	8	9	16	4	0
猫	成	23	104	9	31	18	39	94	116	32
	幼	149	140	147	126	59	85	88	258	64
	計	172	244	156	157	77	124	182	374	96

負傷収容	橋本	岩出	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本	
犬	成	1	2	0	1	1	3	0	0
	幼	3	0	0	0	0	3	0	0
	計	4	2	0	1	1	6	0	0
猫	成	5	7	3	5	3	4	5	1
	幼	7	13	4	0	2	29	8	0
	計	12	20	7	5	5	33	13	1
その他	成	0	0	0	0	0	0	0	0
	幼	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) センターにおける収容頭数及び措置状況

①収容状況

単位：頭・匹

		引取		保健所からの搬入		計	前年度からの継続飼養
		所有者	拾得者	紀北4保健所	紀南4保健所		
犬	成	1	4	112	80	197	24
	幼	0	2	17	12	31	2
	計	1	6	129	92	228	26
猫	成	0	23	202	264	489	17
	幼	0	149	472	201	822	1
	計	0	172	674	465	1311	18
その他	成	0	0	0	0	0	0
	幼	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0

*引取：動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物の収容（所有者引取、拾得者引取）

*「幼」：収容時に生後90日齢以下のもの（推定含む）（以下同じ）

*紀北4保健所（橋本、岩出、海南、湯浅）

*紀南4保健所（御坊、田辺、新宮、串本）

②措置状況

単位：頭・匹

		返還		引取取り下げ	譲渡	自然死	殺処分	計	次年度へ継続飼育
		狂犬病	動愛法						
犬	成	20	7	1	13	12	137	190	31
	幼		0	0	23	1	2	26	7
	計	20	7	1	36	13	139	216	38
猫	成		2	0	10	92	388	492	14
	幼		0	0	44	263	515	822	1
	計		2	0	54	355	903	1314	15
その他	成		0	0	0	0	0	0	0
	幼		0	0	0	0	0	0	0
	計		0	0	0	0	0	0	0

*返還：「狂犬病予防法」に基づき保護した犬を飼い主に返還するもの、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき収容した犬ねこを飼い主に返還するもの

(3) 県内苦情受理件数 (延べ数)

単位：件

苦情内訳	抑留	放し飼い	鳴き声	田畑荒らし	糞尿	恐怖	所有者引取	拾得者引取	負傷動物収容	迷い犬・猫	失踪問い合わせ	飼育指導	咬傷事故	遺棄	虐待	餌やり行為	その他	合計
犬	210	65	45	4	27	1	79	50	13	176	276	26	26	0	6	1	50	1055
ねこ	0	0	10	49	78	2	69	777	77	40	319	11	0	1	6	86	139	1664
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	6	11
計	210	65	56	53	105	3	148	827	91	217	597	37	26	1	12	87	195	2730

(4) センター苦情受理件数 (延べ数) (再掲)

単位：件

苦情内訳	抑留	放し飼い	鳴き声	田畑荒らし	糞尿	恐怖	所有者引取	拾得者引取	負傷動物収容	迷い犬・猫	失踪問い合わせ	飼育指導	咬傷事故	遺棄	虐待	餌やり行為	その他	合計
犬	0	0	0	0	0	0	4	8	0	19	54	15	0	0	0	0	4	104
ねこ	0	0	0	0	0	0	13	59	0	10	59	0	0	0	0	0	4	145
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
計	0	0	0	0	0	0	17	67	0	29	113	15	0	0	0	0	10	251

*犬の保護、放し飼い等の苦情については、管轄する保健所に回付しているため計上していません。

(再掲) 県内苦情受理件数

単位：件

苦情内訳	抑留	放し飼い	鳴き声	田畑荒らし	糞尿	恐怖	所有者引取	拾得者引取	負傷動物収容	迷い犬・猫	失踪問い合わせ	飼育指導	咬傷事故	遺棄	虐待	餌やり行為	その他	合計
犬	動愛センター	0	0	0	0	0	4	8	0	19	54	15	0	0	0	0	4	104
	岩出	44	9	10	1	6	22	7	3	40	55	1	8	0	4	0	3	213
	橋本	19	3	1	0	0	10	0	2	37	34	1	2	0	1	0	18	128
	海南	27	22	11	2	7	4	2	0	5	15	0	3	0	0	0	7	106
	湯浅	17	5	4	0	1	10	6	1	15	29	6	4	0	0	0	1	99
	御坊	22	7	4	0	4	12	11	1	21	34	2	2	0	1	0	6	127
	田辺	66	18	12	1	8	10	12	6	29	39	0	6	0	0	1	10	218
	新宮	9	0	0	0	1	6	4	0	2	5	0	1	0	0	0	0	28
	串本	6	1	3	0	0	1	0	0	8	11	1	0	0	0	0	1	32
猫	動愛センター	0	0	0	0	0	13	59	0	10	59	0	0	0	0	0	4	145
	岩出	0	0	2	6	10	8	70	14	7	51	0	0	1	2	8	26	205
	橋本	0	0	3	4	8	2	144	9	2	22	2	0	0	1	16	14	227
	海南	0	0	0	13	25	9	68	9	9	11	3	0	0	2	31	50	230
	湯浅	0	0	1	2	2	4	32	9	3	40	0	0	0	0	7	3	103
	御坊	0	0	1	7	11	9	80	7	6	42	0	0	0	1	6	22	192
	田辺	0	0	3	17	19	6	111	19	3	48	2	0	0	0	12	19	260
	新宮	0	0	0	0	0	18	170	9	0	32	1	0	0	0	1	0	232
	串本	0	0	0	0	3	0	43	1	0	14	3	0	0	0	5	1	70
その他	動愛センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	岩出	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	橋本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	海南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	湯浅	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	御坊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	田辺	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	4
	新宮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	串本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 動物愛護等啓発事業

(1) 動物の譲渡事業

「動物の愛護及び管理に関する法律」の趣旨及び動物愛護の基本理念を踏まえ、生命尊重及びモラルの向上を図り、県民に適正飼養及び動物愛護精神を普及させることを目的として、センターに収容した動物を新たな飼い主に譲渡している。

譲渡を受けるに際しては、『飼い方講習会』の受講を必須としている。なお、平成21年度から県立保健所においても『出張飼い方講習会』を実施している。(御坊保健所(6,11月)、田辺保健所(5,11月)、新宮保健所(9,10,2月))

①講習会実施状況(開催数及び受講者数)

単位：回・組・人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
開催回数	2	4	4	3	3	4	3	5	3	3	4	3	41	
受講者	組	8	22	17	10	11	14	18	26	10	16	29	17	198
	人	21	49	32	20	17	23	33	42	23	33	44	30	367

②譲渡実績

単位：頭・匹

動物		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
犬	成		1	1	2	0	2	1	3	1	0	1	0	0	12
	幼		0	0	3	2	0	3	3	1	1	0	9	2	21
	計		1	1	5	2	2	4	6	2	1	1	9	2	36
猫	成		0	1	0	1	0	0	1	1	1	4	0	1	10
	幼		0	0	3	3	2	4	5	10	7	7	1	2	44
	計		0	1	3	4	2	4	6	11	8	11	1	3	54

*「幼」とは収容時に生後90日齢以下であったもの(推定含む)

*譲渡時に91日齢以上の犬(推定含む)については、センターが狂犬病予防注射を実施し、その費用として「和歌山県使用料及び手数料条例」で定める金額を徴収した。

③譲渡ボランティア及びミルクボランティア

・譲渡ボランティア

センターに収容された犬又は猫譲り受け、新たな飼い主を非営利目的で探す活動を行うボランティアの登録制度を平成28年6月から開始しました。

登録者数(※)	8人
譲渡頭数	成犬 0頭 仔犬 2頭 成猫 5匹 仔猫 6匹
譲渡ボランティアから新たな飼い主に再譲渡された頭数	上記全てが再譲渡されました

※登録者のうち4人は、ミルクボランティアとしても登録しています。

・ミルクボランティア

センターに収容された自力で摂食できない授乳期の犬又は猫を譲渡できるようにするために、一時的に預かり授乳期が終わるまで育成することに協力していただくボランティアの登録制度を平成28年6月から開始しました。

登録者数 (※)	21人
一時預かり頭数	仔犬 0頭 仔猫 12匹
一時預かりされた動物のうちセンターから譲渡した頭数	仔猫 10匹

※登録者のうち4人は、譲渡ボランティアとしても登録しています。

(2) 犬のしつけ方教室

センターから犬の譲渡を受けた方を対象とした犬のしつけ方教室をセンターにおいて実施している。

実施実績

	第1回しつけ方教室	第2回しつけ方教室
実施回数	20回	3回
参加組数	30組	3組

(3) 動物愛護教室

動物愛護啓発の一環として、動物愛護センターを利用する保育所・幼稚園・小学校・各種団体等の児童等に対して動物愛護教室を開催した。

実施内容

- ・命の大切さについて
- ・犬との接し方について
- ・愛護啓発映画「子犬物語」鑑賞

動物愛護教室実施状況

	保育所・幼稚園	小学校	その他	合計
学校等の数(組)	21	17	15	53
参加者数(人)	1,435	1,045	673	3,153

(4) 体験教室・職業体験

① 飼育体験教室

	実施日	参加人数
夏休み飼育体験教室	8月 1日	3人
	8月 8日	3人
	8月 25日	2人
		計8人

② 獣医師体験教室

	実施日	参加人数
夏休み獣医師体験教室	7月 29日	2人
	8月 5日	4人
	8月 22日	2人
		計8人

③ 獣医学生インターンシップ研修

	実施日	参加人数
北里学園大学	8月 10～14日(5日間)	1人
	3月 13～18日(5日間)	2人
		計3人

⑤ 職業体験・学生研修

	実施日	参加人数
紀美野町立野上中学校	6月 1～3日(3日間)	3人
紀美野町立長谷毛原中学校	8月 24～26日(3日間)	1人
貴志川高等学校	7月 21～25日(3日間)	2人
紀北農芸高等学校	7月 21～25日(3日間)	1人
大阪動物専門学校	1月 23～29日(6日間)	1人
		計8人

- (5) AAA (Animal Assisted Activity) 活動
センターは近隣の老人福祉施設等の施設外活動の場所として活用されており、動物とのふれあいを通して高齢者等に対し、安らぎを与えている。

AAA (動物とのふれあい) 実施状況

団体数	参加人数
26	675

- (6) 施設見学
県内の施設を巡る「紀の国ふれあいバス」事業をはじめとして、各種団体の見学、研修等の場として活用されており、施設・事業概要の説明、動物愛護等の説明を行っている。

施設見学状況

団体数	参加人数
2	19

- (7) 小犬とのふれあい
とくに子供を対象に、動物を触ることにより命の大切さを感じて、小犬との正しい接し方を理解させるとともに、小犬にとっては、いろいろな人に触れられることに慣れ、家庭犬としての社会化を図ることを目的としている。

実施時間・場所等

平日 14:30～15:00 (1回)
土日祝 11:00～11:30、14:30～15:00 (2回)
ふれあいドーム

- (8) 猫とのふれあい
とくに子供を対象に、猫を触ることにより命の大切さを感じて、正しい接し方や室内飼いの必要性を理解させるとともに、猫の譲渡事業を啓発することを目的としている。

実施時間・場所等

平日・土日祝 13:00～13:30 (1回)
マッチングルーム

(9) イベント事業

①WAW FESTA (わうフェスタ)

イベント名/開催日	内 容	来館者数 (人)
WAW フェスタ in ゴールデンウィーク 5月3日(火・祝) ～5日(木・祝)	<ul style="list-style-type: none"> ・動物とのふれあい(小犬・ウサギ) ・動物〇×クイズ ・ミニ獣医師体験コーナー ・動物ぬりえコーナー ・プラ板で迷子札をつくろう ・人形劇「くりちゃんと学ぼう」 *犬の散歩体験教室 *ヤギの散歩体験教室 *犬のしつけ方・動物のケア相談 *3日:絵本の読み聞かせ&動物と接し方教室 *4日:動物との暮らし(教室) *5日:動物との暮らし(教室) 	7,024

*県民参加登録ボランティアの協力により実施

②特別セミナー等

セミナー名等	実施日	参加数
「犬のしつけ方」特別研修会	平成28年4月7日	20名
「犬猫の高齢期における管理」高齢動物のケアに関する特別セミナー	平成29年3月5日	44名

③センター外イベント等参加

各地で催されるイベント等に参加を行い、動物愛護普及啓発事業を実施した。

イベント名	実施日	実施場所
動物愛護フェスティバルinなちかつうら	平成28年11月6日	那智勝浦体育文化会館
ふれあいデーin農業試験場	平成28年11月19日	和歌山県農業試験場

④その他

イベント名	実施日	概要
紀美野ふれあいマラソン	平成28年12月18日	紀美野町に協力。センター敷地内 がマラソンコースの一部となっ た。

(10) 「わうくらす」事業

平成14年度から、小学校における総合的な学習の時間等を利用して動物愛護について学習する動物愛護教室『わうくらす (Wakayama Animal Welfare Class の略)』を実施している。実施に際しては、県立保健所職員やセンター職員が講師となる。

また、平成20年度からは、動物愛護センターを利用した小学校に対しても実施している。

① 平成28年度の実施

	小学校数(校)	児童数(名)
出張型 (小学校での実施)	26	1,152
うちセンター職員が講師	10	486
来館型 (センターでの実施)	15	817
計	41	1,969

i 出張型 (各小学校での実施状況)

市町村	学校名	学年	実施時間数
橋本市	清水小学校	1、2年生希望者	放課後1時間
	三石小学校	4年生希望者	放課後1時間
	柱本小学校	1～6年生希望者	3時間 (2学年合同)
	西部小学校	4年生希望者	放課後1時間
紀の川市	西貴志小学校	4年生2クラス	各3時間
	東貴志小学校	6年生	5時間
	川原小学校	1、2年生	各1時間
海南市	日方小学校	3年生	10時間
	内海小学校	3年生	2時間
	大野小学校	4年生2クラス	各8時間
	巽小学校	3年生2クラス	各10時間
紀美野町	野上小学校	6年生	6時間
	下神野小学校	1～3年生	各学年2時間
	小川小学校	1～6年生	1時間
美浜町	松原小学校	1～6年生	1時間
日高町	志賀小学校	1～6年生	各学年2時間
由良町	衣奈小学校	1～6年生	各学年2時間
日高川町	笠松小学校	1～6年生	各学年1時間
	和佐小学校	5年生	1時間

日高川町	中津小学校	1～3年生	各学年2時間
田辺市	鮎川小学校	1～3年生	4年生
	三柄小学校	1～3年生	1時間
	龍神小学校	1～3年生	1時間
	田辺第2小学校	1～3年生	1時間
印南町	印南小学校	1、2年生	各1時間
那智勝浦町	宇久井小学校	6年生	1時間

ii 来館型（動物愛護センターでの実施状況）

社会見学等でセンターを利用する和歌山県内の小学校が対象。

内容：「命を感じる」「犬との接し方」の講義。

動物愛護・適正飼育普及アニメ「こいぬ物語」の視聴。

実施校

和歌山市	太田小学校、和佐小学校、紀伊コスモス支援学校、紀北支援学校
紀の川市	田中小学校、調月小学校
かつらぎ町	笠田小学校
海南市	巽小学校、中野上小学校
有田市	簗島小学校、保田小学校
湯浅町	田栖川小学校、田村小学校
広川町	広小学校
日高川町	和佐小学校

(参考)

和歌山市保健所による「わうくらす」

中核市である和歌山市においては和歌山市保健所が実施している。

平成28年度実施校

岡崎小学校、三田小学校、小倉小学校、福島小学校、山口小学校、加太小学校、新南小学校、川永小学校、太田小学校、吹上小学校、野崎小学校、宮北小学校、八幡台小学校、貴志小学校、楠見西小学校、四箇郷北小学校、紀伊小学校

② わうくらす講師及び講師補助講習会、研修会

わうくらすは講師及び講師補助の協働による授業である。わうくらすを更に県内へ広く展開するために、平成16年度から講師及び講師補助を育成するための講習会を実施している。

また、講師及び講師補助の研鑽として研修会を実施している。

講師：担任教師やセンター及び保健所の獣医師

- ・ 中心となって授業を進める
- ・ 事業の目的を理解し、授業の内容が効果的に伝わるように実施する

講師補助：ボランティアやセンター及び保健所の狂犬病予防技術員

- ・ 事業の目的を理解し、授業内容が効果的に行われるように講師を補助する
- ・ 適切に飼養された動物と共に参加する

動物：ボランティアの飼養動物、センターのスタッフ犬

- ・ 審査に合格した動物を使用する。

平成28年度実施

	対 象	開催日	参加
講習会	ボランティア	平成28年8月24日	4名
		8月26日	3名
		8月29日	3名
	行政担当者	平成28年8月29日	1名
研修会	ボランティア・一般	平成28年4月27日	20名

(11) 県民参加登録事業

「県民参加により実施する動物愛護普及啓発事業実施要綱」により、動物愛護センターが行う各事業にボランティアの協力を得ている。

ア 現在の登録ボランティア数 (平成29年3月31日現在)

84組237名

事業名	グループ数(人数)
①犬のしつけ方教室	6組(13名)
②WAW FESTA	28組(133名)
③わうくらす事業	68組(109名)
④わうくらぶ(☆)里帰り運動会	1組(55名)

※ 重複あり

☆ “わうくらぶ”はセンターからの譲渡者で構成されるサークル。

イ 平成28年度各事業実績

①犬のしつけ方教室 (延べ数)

教室名	開催回数	受講人数	講師人数
犬のしつけ方教室in有田川	10	87	19
犬のしつけ方教室in動物愛護センター	4	17	4
犬のしつけ方教室in日高	10	177	22
WITH DOG 家庭犬のしつけ方教室	10	36	20
紀見北愛犬しつけ教室	16	37	16
きしがわドッグスクール	19	109	19
計	69	463	100

②WAW FESTA (()内は参加登録ボランティア延べ人数)

- ・犬の散歩体験教室(21)
- ・犬のしつけ方・動物のケア相談(9)
- ・動物との接し方教室(4)
- ・教室「犬との暮らし」(15)
- ・わうくらぶ活動紹介(3)

③わうくらす事業

登録ボランティアは、とくに動物を使用する授業内容で補助として参加。またボランティア自身の飼い犬を連れての参加も実施。

市町村	小学校名	参加日数	参加ボランティア 延べ人数
橋本市	清水小学校	1	2
	三石小学校	1	2
	柱本小学校	1	1
	西部小学校	1	1
紀の川市	東貴志小学校	1	4
	西貴志小学校	1	4
海南市	巽小学校	3	6
	日方小学校	6	1 1
	大野小学校	7	1 4
	内海小学校	1	2
紀美野町	野上小学校	3	1 2
	下神野小学校	2	4
美浜町	松原小学校	1	7
日高町	志賀小学校	4	2 3
日高川町	笠松小学校	1	7
	和佐小学校	1	7
	中津小学校	2	1 0
印南町	印南小学校	1	5
田辺市	鮎川小学校	1	5
	三柄小学校	1	4
	龍神小学校	1	2
	田辺第2小学校	1	6
由良町	衣奈小学校	2	5
	計	4 4	1 4 4

④わうくらぶ里帰り運動会

センターからの譲渡者で構成されるサークル“わうくらぶ”が、譲渡者間の交流を図る「里帰り運動会」を開催する。運動会の開催に際しては「犬のしつけ方教室」で登録しているボランティアも、スムーズな運営のために協力している。

実施日：平成28年4月17日（雨天中止：有志によるゲーム等 参加ボランティア1名）

平成28年11月27日（雨天中止）

(12)「わうくらぶ」との協働

「わうくらぶ」とは、動物愛護センターから譲渡された犬・猫の飼い主が立ち上げたサークルで、譲渡者同士の交流を図ることを目的に平成19年3月21日に設立されました。

当センターでは、「わうくらぶ」と協働し、譲渡の目的である適正飼養の普及啓発を行っています。

会員数 平成29年3月末 30組

「わうくらぶ」の主な行事

- ①里帰り運動会の企画・運営（年2回）
- ②ちょこっと里帰りの企画・運営（月1回）
- ③わうくらぶ通信（会報）の作成（年3回）
- ④なかよし写真コンテストの開催（不定期）
- ⑤イベント等への参加

①里帰り運動会

実施日	参加組数
平成28年 4月17日	雨天中止
平成28年11月27日	雨天中止

②ちょこっと里帰り

毎月第3日曜日に開催

第三章 調査研究

1 調査研究年表

年度	演 題	発 表 場 所
12	飼いねこに対する県民意識と飼育実態調査について	所内発表
13	和歌山県動物愛護センターにおけるふれあい譲渡対象犬の糞便検査による内部寄生虫卵保有調査について	所内発表
14	和歌山県動物愛護センターにおける譲渡犬の譲渡後調査	日本獣医公衆衛生学会(近畿)
15	総合学習の一環としての動物愛護教室「わうくらす」	全国動物管理関係事業所協議会
16	総合学習の一環としての動物愛護教室「わうくらす」(第2報)	日本獣医公衆衛生学会(近畿)
18	ケタミンの麻薬指定に伴う代替薬品の検討	全国動物管理関係事業所協議会
	犬の譲渡後の支援・調査が適正飼養に与える効果	全国動物管理関係事業所協議会
	動物愛護教室に係るアンケート調査結果	和歌山県公衆衛生学会
19	ねこの譲渡講習会の内容を改善したことによる適正飼育普及効果	和歌山県公衆衛生学会
20	犬の保護業務における経口麻酔薬の有効性の検討	全国動物管理関係事業所協議会
	和歌山県内における犬の狂犬病ウイルスの対する中和抗体調査	日本獣医公衆衛生学会(近畿)
	「わうくらす」が子どもの動物への共感性および向社会的行動の発達に与える効果	和歌山県公衆衛生学会
21	小学生を対象とした動物愛護教室「わうくらす」の紹介	全国動物管理関係事業所協議会
23	和歌山県における犬の引取理由の調査とよりよい譲渡制度の考察(ポスター)	ヒトと動物の関係学会
25	平成23年の台風12号により被災した地域で保護した犬について	全国動物管理関係事業所協議会
26	本県における猫の寄生虫感染状況の調査と猫の適正飼養の重要性について啓発する。	公益財団法人大同生命厚生事業団「地域保健福祉研究助成」
	動物の失踪問い合わせに関するFacebookの活用について	全国動物管理関係事業所協議会
	平成25、26年度回収分来館者アンケートについて	所内発表

第IV章 鳥獣保護センター

傷病野生鳥獣救護状況

収容した3頭(羽)のうち放鳥獣できたものは2頭(羽)であった。

台帳番号	鳥獣名	一次・二次治療の別	振興局番号	保護状況の説明												26 O- ◎			
				平成28年度			◎(依頼日)			◎(放鳥獣日)			×(死亡日)						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
				上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
1	トンビ	二次	有田																
2	ゴイサギ	二次	海草																
3	ノスリ	二次	有田																2330 O-◎

資料
平成28年度来館者数 179,585人

年度別来館者数

年度	来館者数 (千人)
16	217
17	213
18	219
19	215
20	204
21	217
22	180
23	185
24	194
25	180
26	187
27	186
28	180

